



1. 開催概要



九州大学アジア・オセアニア研究教育機構 (Q-AOS)

シンポジウム2021

1. 開催日時

2021年10月13日(水) 13:00~16:30
10月14日(木) 10:00~17:35

2. 開催形式

オンライン形式

3. テーマ

「都市」の過去、現在、未来～次の100年のために今できること～

(テーマ設定趣旨)

SDGs「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」は、2015年9月国連サミットで採択され、現在国連に加盟している193の国・地域が2030年を期限に達成を目指しています。一方、今後約30年間で世界の都市人口が急増し、世界人口の7割が都市に居住することになるという急激な都市化に伴い、様々な社会・環境問題の発生が見込まれています。

そこで、本シンポジウムでは、SDGsの達成には都市・地域レベルの取り組みが不可欠であるという共通認識のもとで、「都市」の過去、現在、未来を見据えて、次の100年のために今できることを主題に設定します。

初日には国内外の著名な専門家が一堂に会して、アジア・オセアニア地域の都市のサステイナビリティへとつなげていく戦略、課題などを提示し、二日目には若手研究者を中心に具体的な研究成果を発表し、異分野の研究者による学際的・融合的な議論を行います。

本シンポジウムを通じて、アジア・オセアニア地域で今日生じている社会的課題の解決と、将来生起することが予想される社会問題の発生抑制などに関わる最新の研究情報と技術などを参加者の皆さんと共有したいと思います。

4. プログラム

次ページ以降に掲載

5. 主催

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)

6. 後援

国連人間居住計画(ハビタット)福岡本部(アジア太平洋担当)
福岡市
糸島市
公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構
公益財団法人福岡アジア都市研究所
公益社団法人日本都市計画学会九州支部
日本建築学会九州支部

7. 協力

九州大学病院国際医療部アジア遠隔医療開発センター(TEMDEC)